

第2回定例会の主な日程

令和3年第2回定例会は、左記の会期日程で開催されました。
6月1日(火) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
6月4日(金) 本会 議 (一般質問・質疑)
7月(月) (一般質問・質疑)
8日(火) (知事追加提出議案説明)
6月10日(木) 常任委員会
11日(金)
6月14日(月) 本会 議 (予算関係議案常任委員長報告など)
6月15日(火) 予算特別委員会
6月16日(水) 常任委員会(茨城づくり調査特別委員会)
6月18日(金) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

●質問者
6月4日(金)
中村 修 議員 (いばらき自民党)
村本 修司 議員 (公明党)
塚本 一也 議員 (いばらき自民党)
6月7日(月)
磯崎 達也 議員 (いばらき自民党)
坂本 隆司 議員 (いばらき自民党)
沼田 和利 議員 (いばらき自民党)
6月8日(火)
豊田 茂 議員 (いばらき自民党)
下路 健次郎 議員 (いばらき自民党)
西野 一 議員 (いばらき自民党)
議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧になれます。



中村 修 議員
いばらき自民党
取手市選出
一括方式

県総合計画の進捗及び知事就任後4年間の評価

議員 知事は計画に掲げた4つのチャレンジについて、現時点での成果と課題をどう評価するのか。目標達成に向けた意気込みは。
知事 企業誘致や医師確保など、数々の成果を上げ、取り組みは着実に進んでいる。期待値を下回る指標も、しっかりと分析、評価し、さらなる施策を打ち出している。コロナ禍による経済活動の停滞など新たな課題にも、挑戦、スピード感、選択と集中の基本姿勢を一層徹底し、取り組んでいく。

県産品販路拡大の取り組み強化

議員 コロナ禍による社会情勢、消費動向の変化を捉えて、県産品販路拡大にどう取り組むのか。
営業戦略部長 新たに栗の加工品などのトップブランド化に取り組みとともに、「いばらき県産品お取り寄せサイト」をはじめとしたオンライン販売の強化を図る。また、放送中の茨城県テレビ広報番組「いばらき推し」などと連動させて、ECサイトへの誘導を図る。(ほかに、保健所の人員、施設整備の充実強化、県民の安心を支える消防防災体制なども質問)



茨城が誇るトップブランド豚肉「常陸の輝き」、梨「恵水」



塚本 一也 議員
いばらき自民党
つくば市選出
一括方式

気象庁地磁気観測所<sup>※2</sup>の移転

議員 地磁気観測所は、鉄道の電化に大きな影響を及ぼし、本県の都市化の足かせとなってきた。今後の県勢を展望する上で、県外移転や補償を国に求めていくべきであるが、どう考えているのか。
知事 この施設の立地は、鉄道ネットワークなどを考える上で大きな課題と認識しており、国の責任において、早期に県外へ移転することや必要な補償を行うよう要望する。今後も本県の発展の制約とならないよう取り組んでいく。



村本 修司 議員
公明党
日立市選出
一括方式

子どもの心の声を聴く 子どもアドボカシー<sup>※1</sup>の推進

議員 弱い立場の子どもの意見表明権を保障し、権利を擁護する取り組みを具体的にどう進めるのか。保健福祉部福祉担当部長 一時保護された子どもの適切な処遇確保のため、第三者評価を取り入れる。また、子どもの権利を説明した「子どものための権利ノート」の記載内容の充実に取り組みほか、意見表明支援員の育成に向け、モデル的に取り組む自治体も参考に、児童福祉司や施設職員などの研修カリキュラムの改定を図る。

学校における自然災害に対する備え

議員 国から危機管理マニュアルの作成・見直しなどの要請があり、自然災害に対する学校防災のレベルアップが必要だが、具体策は。
教育長 学校へのアンケートで課題を把握し、専門機関と連携してアドバイスをを行うなど防災体制の整備を支援する。また、防災士などの学校派遣も検討し、最高責任者の校長には地域との連携やリーダーシップなどの研修を実施する。(ほかに、エビデンスに基づく政策立案の推進、ICTを活用した質の高い学びの実現なども質問)



子どもの権利擁護の取り組み

桜川の治水対策

議員 近年想定外の大雨によって河川の急激な増水が起きている。令和元年台風第19号では、つくば市内でも浸水被害が生じたが、桜川の治水対策にどう取り組むのか。
土木部長 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算も活用し、引き続き筑波工区の整備を進めるほか、浸水リスクが高い区間で河道掘削などを進める。(ほかに、品川駅を拠点とした茨城県のイメージ戦略、県立高校の志願者減に對する歯止め対策なども質問)



川幅を広げる河道掘削工事(桜川・つくば市)



磯崎 達也 議員
いばらき自民党
ひたちなか市選出
分割方式

出産・子育ての課題と少子化改善のための取り組み

議員 コロナ禍の中、家事・育児などの女性への偏りが鮮明となった。女性の視点に立って、少子化問題の見直しが必要と考える。出産・子育ての課題をどう認識し、少子化改善に、どう取り組むのか。
知事 少子化の最大の要因は未婚化・晩婚化と認識している。少子化改善のため、男女の出会いの場の創出、子育て世帯の経済負担の軽減、保育所など保育の受け皿拡大、ワーク・ライフ・バランスのための働き方改革を促進していく。

民間手法等を活用した県施設運営等による観光振興

議員 視察に行った野沢温泉村では、村がスキー場を整備・管理し、民間会社が経営を担う「上下分離方式」が効果を上げていた。県では、民間手法などを活用した観光振興に、どう取り組んでいくのか。
営業戦略部長 民間手法導入などにより、リニューアルした県有施設でサービス向上などの効果が現れている。人脈やノウハウの積極的なマッチング推進など、民間活力を生かした観光振興に取り組む。(ほかに、働き方改革、郷土意識を育む観光施策と教育なども質問)



男女の性別役割分担意識の改革を



坂本 隆司 議員
いばらき自民党
龍ヶ崎市・利根町選出
一括方式

地域活性化につなげるスポーツツーリズム

議員 地域活性化につなげるには、スポーツツーリズム研究会のような場を設け、市町村の枠を超えた連携や民間事業者の活用を推進すべきだと考えるが、スポーツツーリズムの今後の目標と取り組みは。
知事 交流人口の拡大や地域の魅力向上などの有用性に加え、「稼げる地域づくり」を重要な視点として、今後もスポーツツーリズムの推進に取り組んでいく。また、状況に応じて民間事業者などを入れた協議の場を設置していきたい。

牛久沼の活用

議員 牛久沼をより魅力ある観光資源とするためには、協議会への県土木部の支援や、牛久沼を県営都市公園<sup>※3</sup>として整備する手法が有効だと考えるが、所見は。
土木部長 土木部としては、技術的助言や事業手法の提案といった支援を行うことで関わっていきたい。県営都市公園としての整備については、多くの課題があると認識しているが、牛久沼の活用が一層図られるよう支援していく。(ほかに、美浦栄線バイパスの延伸、空き家対策なども質問)



牛久沼をより魅力ある観光資源に

ことば ※2【気象庁地磁気観測所】…石岡市柿岡で地磁気の観測などを行っている国の機関。方位磁石などからもわかるように、地球には磁場(地磁気)がある。電流により生じる磁場が観測の支障となるため、観測所の半径約35キロメートル圏内を走行する電車は、電化の方式などで制約を受ける。

※3【都市公園】…都市公園法に基づき地方公共団体や国により設置される公園または緑地のこと。